

デフレ脱却と経済活性化の 4 原則

平成 24 年 4 月 27 日
経済財政政策担当大臣

デフレ脱却と経済活性化に向けた本会議における取組の検討に当たっては、以下の 4 つを原則とする。

原則 1 適切なマクロ政策と同時に、政府を挙げて構造的課題にしっかり取り組む

- ・ 10 年以上続く課題であるデフレ脱却のためには、適切なマクロ政策運営はもとより、デフレを生みやすい経済循環を是正する構造的課題への取組が必要。

原則 2 「人を動かす」＝人材への投資、人と企業の移動促進により高い所得を実現

- ・ 次世代育成のための方策を幅広く検討。非正規雇用と正規雇用の均衡処遇を推進。
- ・ 復興需要を含め経済状況を点検しつつ、リーマンショック後の危機対応措置の次の段階に向けた検討。

原則 3 「モノを動かす」＝抑制された潜在需要を実現し、モノのデフレと資産デフレを是正

- ・ 抑制されたモノ・サービス、資産への潜在需要を顕在化させる幅広い方策を検討。
- ・ 製品のみならず、サービス部門も海外進出等によりアジアの成長を生かす視点を重視。

原則 4 「お金を動かす」＝民間資金の流れを活発化する

- ・ PFI や財投の活用をはじめ様々な手段により民間資金（特に、余裕のある高齢層）を活かすことを重視。